

誰かの生活の役に立っている。  
自分が携わった自動車が、



北代天飛さん(2001年生まれ)

刈谷工科高校 出身

株式会社ヒサダ

安城市里町三郎11  
http://www.hisada-g.co.jp/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 工科高校で自動車工学・整備などを学ぶ→自動車部品を製造する企業に就職→製造部に配属

— 学生時代

「刈谷工科高校の自動車科に入ろうと思ったきっかけは、中学3年生のときに『自動車の見た目』に興味をもったからです。その後、自動車科に入れば自動車工学・整備など、いろいろ知ることができるとはなにかと思いましたが、また、野球部に所属し、キャプテンを経験しました。そこで、リーダーシップで部員をまとめることや引っ張っていくことの大切さや大変さなどを学び、責任感を養うことができたと思います」

— 仕事について

「高校卒業後は、独自の生産技術で、自動車のドア周辺のパーツやシート関連部品、ATMの部品などを製造する株式会社ヒサダに就職しました。ヒサダを知ったのは、高校の求人がきっかけでした。自動車関係の会社に就職したいという思いと、野球を続けることができる会社という点で野球部があるヒサダを選びました。野球部に力を入れているというのが、私のなかでは大きなポイントでしたね」

現在の仕事内容を教えてください。

「プレス機を使って自動車のドア回りのパーツを製造しています。具体的には、コイルを流して製品にあつた型にプレスしていくという作業を管理しています。出来上がった部品がある程度溜まると、次の工程に引き渡します。仕事をすすめるうえで気をつけていることは、まずは『安全第一』です。危ない



とがやりがいにつながるのだと思います」

— メッセージ

「先々のことを考えすぎず、純粋に学校生活の『今』を楽しんでいくのがいいのではないかと思います。私もそうですが、学生のときに身につけたこと、学んだことが、大人になったときに意図せず自分を助けてくれることもあります。だからこそ、『今』できる、むしろ『今』しかない時間を大切にして、さまざまなことを経験していくことが、将来につながるきっかけがえのない財産になると思います」

「高校卒業後は、独自の生産技術で、自動車のドア周辺のパーツやシート関連部品、ATMの部品などを製造する株式会社ヒサダに就職しました。ヒサダを知ったのは、高校の求人がきっかけでした。自動車関係の会社に就職したいという思いと、野球を続けることができる会社という点で野球部があるヒサダを選びました。野球部に力を入れているというのが、私のなかでは大きなポイントでしたね」

— やりがい

「自分の作った部品が次の工程で自動車のかたちになっていき、その自動車がかたがた走っています。少しでも自分が携わった自動車が、誰かの生活の役に立っている姿を見ると、うれしい気持ちになりますね。安全に気持ちよく乗っていただけのように、私たちは常に高品質なモノづくりを心がけています。そこをしっかり意識して守っているからこそ、携わった自動車が走っているこ



自分探検

- 16歳 自動車の見た目に興味をもち、刈谷工科高校自動車科に進学。
- 19歳 本格的に野球を続けられる環境に魅力を感じ、ヒサダに就職。
- 20歳 高品質なモノづくりに携わることに誇りを感じ、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



虫歯や歯周病から患者様のお口の健康を守る  
 ことが歯科衛生士の役割。



山口琴未さん(2000年生まれ)

安城南高校 出身  
 三河歯科衛生専門学校 卒業

のじまデンタルクリニック

岡崎市藪田2-9-8  
<https://okazaki-nojimadc.com/>

なるためには

- 必要資格 / 歯科衛生士
- 主な進路 / 高校卒業→歯科衛生士の資格が取得できる専門学校に進学、歯科衛生士国家試験に合格→デンタルクリニックに就職

——学生時代

「高校時代は、生徒会活動と勉強の両立をしていました。2年生のときには生徒会長を経験し、学校行事などの運営にも携わりました。人前です話をするにも慣れましたし、相手に伝わりやすい原稿の作成や物事を説明する力が養われたと思います。将来は、漠然と医療系に進みたいと考えていました。専門学校の手合説明会に参加し、そこで歯科衛生士という職業を知ったのがこの道に進んだきっかけです。特にカリキュラムが魅力的だと感じた三河歯科衛生専門学校に進学を決めました」

——専門時代について教えてください。

「座学では、歯の構造、健康や病気について学び、校内実習ではスクーリングなどを学びます。1年次の座学や校内実習で学んだことが、2年次の病院実習でつながる経験がとても新鮮でした。病院実習は1週間のうちに実習日と帰校日があり、帰校日には実習の課題や疑問点を先生に確認したり同級生と情報共有したりできたので、とても有意義なものになりました。国家試験対策はグループに分かれ、成績に合わせた勉強方法を先生方から提案していただき、効率よく協力しながら勉強することができました」

——仕事について

「就職先選びは、当院で実習した同級生からの体験を聞き、スタッフの雰囲気や予防歯科に力を入れている方針に共感したのがのじまデ



「デンタルクリニックに就職した決め手です。入職後の研修期間は、先輩に付いて段階的に実践を積んで知識や技術を深めていきました。そのほかにも、月に1回の院内勉強会では、外部講師をお招きして接遇や技術などを学ばせてもらっています」

——最初に苦労したことは？

「わからないことがあっても何でも『はい』と返事をしてしまう癖がありました。先輩から『理解してからでない』と見透かされていました。それをきっかけに、わからないことは素直に質問し、すぐに疑問や不安を解消するようにしています」

——仕事内容を簡単に教えてください。

「現在は歯科衛生士業務として、虫歯や歯周病の患者様のスクーリングや歯磨き指導などをおこなっています。仕事中はマスクで顔が隠れてしまつたため、声のトーンや笑顔を意識して対応することで、少しでも患者様の不安を和らげるよう心がけています」

——やりがい

「初めて対応させていただいた小児の患者様に、『ありがとう。やさしかったよ』と言われてうれしかった

ことをいまでも覚えています。歯科衛生士としてのやりがいは、患者様の口腔内の状態がよくなつていくと実感できるときです。そのためにも日々、技術を磨き、患者様との会話を工夫しています」

——メッセージ

「歯科衛生士の養成課程のある学校に進学し、国家資格である**歯科衛生士**を取得する必要があります。試験対策は、出題者の気持ちになって問題文を考えて取り組んでいました。個々の内容をバラバラに覚えるのではなく、関連づけて覚えることの重要性を感じました」

ありがとうございます。



18歳 高校時代は生徒会活動と勉強を両立し、三河歯科衛生専門学校に進学。  
 ↓  
 21歳 授業や実習で予防歯科の実践を学ぶ。のじまデンタルクリニックに就職。  
 ↓  
 22歳 歯科衛生士として、虫歯や歯周病から患者様のお口の健康を守る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



営業は、お客様とメーカーをつなぐ  
橋渡し役のような存在。



三吉季早さん(1995年生まれ)

豊野高校 出身  
愛知学院大学 心身科学部心理学科(現:心理学部)卒業

株式会社MINEZAWA

岡崎市井田南町4-5  
<https://www.minezawa.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学で心理学を学ぶ→総合商社に就職→営業として勤務

—学生時代

「吹奏楽部に所属し、フルートを担当していました。実力のある高校だったので、お盆と正月以外は部活。家には寝るだけという生活でした。でも部活に明け暮れていたからこそ、文武両道をめざして勉強も同じくらい頑張ることができたと思います。その結果、目標だった愛知学院大学心身科学部心理学科(現:心理学部)に進学できました。大学院までいけることや著名な教授がいることが、愛知学院大学をめざしたきっかけです」

大学時代について教えてください。

「当時は児童福祉司をめざしていた、心理学を学ぶために進学しました。その中でも特に印象深かったのが産業心理学。会社内のストレスについて、上司との関係づくりやコミュニケーションのとり方などを学びました。それが一般企業の仕事にも興味をもったきっかけです。大学卒業後は、機械工具を中心とした総合商社である株式会社MINEZAWAに就職しました」

—仕事について

「入社後、メーカーの担当者から製品説明を聞く研修がありました。弊社は、数百社の仕入先メーカーと取り引きをおこない、配管器具や電動工具から大型工作機器や産業用ロボットまでさまざまな製品を取扱っています。自分が普段生活をするなかで工具を使う機会がほとんどなかったのが、最初は製品知識を覚えるのに苦労しました...」



仕事内容を簡単に教えてください。

「私たち営業は、製造業のお客様とメーカーをつなぐ橋渡し役のような存在です。お客様からは、いろいろなお問い合わせがきます。たとえば、「いま使っているものより、もっと利便性がよくて価格の安いものはないかな?」といった相談が多いですね。お客様の要望に合わせてメーカーに問い合わせをしたり、自分で条件に合う製品を探したりして、値段や付加価値を踏まえて数種類の製品を提案します」

心がけていることは?

「同じ製品を取り扱う会社が何社もあるなかで、どうすれば自分を選んでもらえるかが重要。大事にしているのは、レスポンスの速さや臨機応変な対応です。お客様のもとを足繁く通うことも心がけています。すべては、お客様の役に立ちたいという思いからです」

—やのがい

「やっぱり、お客様からの『ありがとう』という言葉にやりがいを感じます。お客様が私を頼ってくれたり、心を開いてくれる瞬間にもやりがいを覚えます」

—メッセージ

「人と話すことが好きな人、笑顔であいさつができる人に向いている仕事です。仕事をするうえで必要な知識や技術は自然と身につけてくるので安心してください。高校時代、夢があるならそこに向かって部活や勉強に励んでください。頑張れば頑張った分だけ成長しますよ。私も愛知学院大学に進学したいという目標がモチベーションになって、受験勉強を頑張ることができました。あとは、文化祭などの学校行事も全力で楽しんで、青春を謳歌してください!」

ありがとうございます。



自分探

18歳 文武両道をめざし、部活と勉強に励む。卒業後、愛知学院大学に進学。

22歳 心理学を中心に学ぶ。大学卒業後、株式会社MINEZAWAに就職。

26歳 レスポンスの速さや臨機応変な対応を心がけ、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



日々の研究を通して、  
商品のもつ魅力や新しい発見を見つけ出す。



**大須賀佑輔** さん (1995年生まれ)

岡崎高校 出身  
東北大学大学院 農学研究科生物産業創成科学専攻修了

### カルビー株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3丸の内トラストタワー本館22F  
<https://www.calbee.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、農学部で研究に取り組み→大学院を修了→食品製造をおこなう企業に就職→研究職

#### —学生時代

「部活動と勉強に励みながら、体育祭や文化祭などの行事にも積極的に取り組み、楽しい高校生活を送りました。東北大学農学部に進学したのは、1年のときのクラスメイトの影響です。『北海道大学で酪農を学びたい!』という強い思いをもった友達がいる、その姿にかっこよさを感じ、私も大学で研究をしたいと思うようになりました」

#### —大学時代について教えてください。

「人がやっていないことをやるのがかっこいいという思考があったので、みんなは食品の油脂の酸化について研究しているなか、私は人間の脂質の酸化について研究しました。いままでは、勉強はこれくらいいい、部活も試合に出場できればいいという感じでした。でも大学の研究室では、同期と比べて努力を怠っていないわけではないのに結果がなかなか出ない時期が続きました。目の前のことをやるしかない、自分を奮い立たせながら本気で研究に取り組んだ経験が成長と自信につながっています。大学時代に学んだ研究機器の使い方、周囲の発表から得た知識は仕事にも役立っています」

#### —仕事について

「カルビーに就職して3年目。1年目は、ポテトチップスの製造工場でのフライ工程を担当し、商品がどのような工程で出来上がっていくのかを学びました」

#### —現在の仕事内容を教えてください。

「商品を販売していくにあたって、



その商品がもっているセールスポイントを研究を通して見つけ出す仕事です。当社はポテトチップス以外にも、『フルグラ』、そら豆が素材の『ミーン』といった商品も販売しています。たとえば、『食べるのにいい』という売り出し方をするには、研究結果をもとにした根拠が必要で、そのために、素材を粉砕して抽出したものを機器分析し、結果を解析していきます。わからないことがあったときは、論文を読んだり、答えやヒントをまわりから探したり、研究に取り組む姿勢は大学で学んだことが大きいです。心がけているのは、他人を当てにしすぎないこと。しっかりと自分の頭でプランを考えて研究をおこなうようにしています」

#### —やりがい

「自分が関わった商品が世の中に出たときにやりがいを感じます。研究者としては、学会発表をしたり何かしら研究成果が見えることもやりがいのひとつです。まだ私は大きな成果はあげられていませんが今後、自分の研究成果が軸となった商品を発表できるように頑張りたいです」

#### —メッセージ

「研究職に就きたいなら、理系を選択して大学で研究に取り組める環境で学ぶのが一般的です。私は4年次から研究室に入ったのですが、基本的な研究の手法を学んだら4年生が終わっていました。研究成果をあげるのにも時間がかかりましたし大学院に進む人が多いですね。高校時代は、目の前のことを一生懸命やってください。失敗したとしても、一生懸命やった結果だったら、納得して前を向いて進めると思えます。いつまでも後悔して生きるより、人生を楽しんでほしいです!」

ありがとうございます。



18歳 高校卒業後、東北大学農学部に進学し、研究の基礎を学ぶ。

24歳 カルビーに就職。1年目はポテトチップスの製造工程を経験。

27歳 研究職として、商品のもっているセールスポイントを見つけ出す。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



人の役に立つ仕事がしたいという  
思いが実現できていることを実感。



**砂川すもも**さん(2002年生まれ)  
岡崎商業高校 出身

**シェアリングテクノロジー株式会社**  
名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋19F  
<https://www.sharing-tech.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→暮らしのお困りごとを対象としたWEB事業を展開する企業に就職→電話受付事務

— 学生時代

「高校生活の一番の思い出は、3年生のときの体育祭です。創作ダンスを披露するために放課後にみんなで練習し、案を出し合っってひとつの作品を作り上げられたことがとても楽しかったことを覚えています。達成感も大きかったです。学業面では、商業高校だったので簿記、情報処理、電卓検定などの資格を取得しました」

— 仕事について

「シェアリングテクノロジーは、暮らしのお困りごとを解決する『生活110番』などのWEBサービスを展開しています。以前から、将来は人の役に立つ仕事がしたいと思っていました。お客様のお困りごとに寄り添い、力になれるこの仕事に魅力を感じたことが、当社に就職したきっかけです」

入社当初のことを教えてください。

「数日間の座学でお客様の対応を学び、その後、実際に電話に出ながらの研修を受けました。初めは、対面でお客様に対応するよりも、電話対応のほうが簡単というイメージをもっていました。でも、いざやってみると、顔が見えない状況で、老若男女問わずさまざまなお客様の対応を自分の言葉だけでするのはすごく大変なことに気がつくきました。数々の案件に対応していくなかで、言葉づかいや相槌、会話の間のとり方の大切さなどを学んでいきました」

仕事内容を簡単に教えてください。

— メッセージ

「特に必須となる資格はありません。電話でお客様の話を聞きながらパソコンで相談内容をまとめないといけないので、タイピングスキルはあったほうがいいですね。私は高校時代に習得したフラインドタッチがとても役に立っています。初めはわからないことだらけで不安でしたが、まわりの先輩がサポートしてくれているので安心して学びながら成長できていると思います。みなさんの思い出を作ってください！」



「暮らしのお困りごとを解決するお仕事です。鍵が開かない、ガラス交換や網戸の張り替え、パソコン関係、シロアリ駆除といった、150種類以上のお困りごとに対応しています。電話でシェアリングを行ない、全国5000社以上の加盟店のなかから、ご相談内容をもとに条件にあった加盟店を紹介いたします。最初は簡単なお困りごとを担当し、徐々にシェアリング項目が多いシロアリ駆除などの難しい案件も担当できるようになりました。入社3か月ごろには、すべての種類のお困りごとに対応できるようになりました」

心がけていることは？

「困っているお客様に安心感や信頼感をもってもらえるように、言葉づかいや声のトーンには気を遣っています。あとは、間違った情報を加盟店に送ってしまわないよう、情報確認は常に徹底しています」

— やりがい

「お客様に対応するなかで、『ありがとう！』と感謝の言葉をいただくことやりがいを感じます。人の役に立つ仕事をしたという思いが実現できていることを実感します」



年齢

17歳 資格取得に助んだ高校時代。簿記、情報処理検定などを取得。

18歳 シェアリングテクノロジーに入社。電話対応の基礎を学ぶ。

19歳 さまざまな経験を積みながら、対応できるお困りごとの幅を広げる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





「ベースオデッセイというジャマイカの有名なグループに頼み込み、一緒にジャマイカの田舎で暮らして、音楽ビジネスや世界へのアプローチのノウハウなどを学びました。東京から来ていた友人と一緒に、道端でジャークチキンを真似て日本のテリヤキチキンを売ったりもしました。最初は小馬鹿にされることも多く、まったく売れませんでした。でも現地のテレビ局が取材にきたことをきっかけに『日本人が売るテリヤキチキン』として認知度が一気に上がり、長蛇の列ができるほどたくさんのお客さんが来てくれました。お客さんとのやりとりも語学勉強になったと思います。店舗をオープンしたりもして、レゲエにふ

れながら生計を立てられるようになり、そんな生活を5年ほど続けて日本に帰国しました」  
**——日本に帰国**  
 「毎週月曜日に現地から生配信をしていたことや、日本で販売していた現地のライブ音源を通じて興味をもってくれた全国の現場を2ヶ月半で全国30箇所以上を回ったりと、全国に自分たちの音楽を広めていけるようになりました。僕が日本にいないときも、ほかのメンバーがイベント出演を続けてくれたおかげで、毎週末どこかのイベントに呼ばれてプレイさせてもらっています。

平日は、音源などの制作活動が中心です。レゲエの世界は戦国時代に似ています。街にゲストとして呼ばれて、その街を盛り上げられたいと次に呼ばれることはありません。毎回の営業活動が全力投球です。その成果もあり、『三河、岡崎ってフジヤマがいるところだよ』と言われるまでに全国に認知を広めていきました。リアル信長の野望ですよ(笑)」  
**——ターニングポイントになった出来事がありますか？**  
 「ターニングポイントはサウンドクラッシュへの参戦です。2016年に日本の大きな大会で優勝して、日本チャンピオンとして世界大会に出場しました。翌年のワールドクラッシュでは3位に。それを機に、ニューヨーク、ヨーロッパなど海外から出演依頼が入ってくるようになり、2018年のドイツで開催された世界大会では優勝することができました」  
**現在の活動内容は？**  
 「フジヤマサウンドとしてのイベント出演以外にも、岡崎でカリブ文化を紹介するイベントを主催(写真1)したり、アパレルブランドのプロデュースしたりと、いろいろな活動をしています。ジャマイカの特産であるブルーマウンテンコーヒー豆をブレンドした『ブルーリス

——音楽との出会い  
 「高校2年のときに、兄の同級生を通じてレゲエミュージックに出会いました。そのとき彼らが活動していたグループが、今僕がMCを務める『フジヤマサウンド』です。フジヤマが主催していた『やすらげん』という野外イベントの手伝いを始め、スピーカーを運んだり会場のゴミ拾いしたりドリンクを売ったりしていました。最初は雑用みたいな感じですよ」  
**それがきっかけで、レゲエにのめり込んでいったんですね？**  
 「初めて生のレゲエミュージックを聴いたときは本当に衝撃的でした。サウンドシステムと呼ばれる巨大なスピーカーから野外に流れるダイナミックなレゲエサウンドにやられちゃって、それから夢中になってレゲエにハマっていききました。影響を受けたのは、横浜を拠点にワールドワイドに活動するマイティクラウンというレゲエグループです。彼らがサウンドクラッシュ(レゲエの音のバトル)の世界大会で優勝したのは自分の中で大きいですね。日本のグループが黒人文化の中で活躍できることを証明していく姿に憧れました。いつか自分も世界で活躍できるようになりたいと思い、高校卒業後の進路も音楽ありきで考えていました」  
**——レゲエ人生の始まり**  
 「世界で活躍するためには英語が必須だと思い、外国語の専門学校に進学し、1年間カリフォルニアに留学



「僕ら本場にまわりを支えられてきました。フジヤマのファミリーや三河の音楽を続けてきた先輩、後輩が

一歩ずつでも地道に続ける、それが糧になります。結局は気持ち。戦うのは自分の中の自分です。



YOUTH  
 ユースフラッシュ  
 FLASH

三河出身の有名人インタビュー

愛知産業大学三河高校出身のミュージシャン、ACURAさんを独占取材!  
 兄の影響でレゲエミュージックと出会い、それが生業になるまでどっぷりのめり込んでしまったACURAさん。レゲエの本場ジャマイカでの長期滞在を経て、帰国後、サウンドクラッシュで日本チャンピオンに。厳しい音楽業界で活躍するACURAさんに、好きなことを仕事にする秘訣を聞いてきました。

「サウンドと呼ばれるグループには、DJやセレクター、MCなどの役割があり、僕はMCを担当しています。簡単に言うと、流れている音楽をお客さんに紹介しながら会場を煽って盛り上げることがMCとしての僕の仕事です。イベント出演を続けるなかで、本場ジャマイカの曲や文化、言葉を100%理解できていないと自分の理想のステージには届かないという気持ちで芽生え、長期でジャマイカに住むことを決めました」  
**——ジャマイカへ移住**  
 「とりあえず、24歳のときにジャマイカに渡って1年間住みました。行く前は、まわりの人たちが、就職をしたり、結婚して子どもを育てていたりするのを見て『自分だけずっと夢を追いかけていて大丈夫か?』という不安もありました。もうやめようと思ったことも何回もありました。だけど、今思えば、やめるのは簡単だし、続けてきてよかったと思う場面のほうが多いですね」  
 いたから自分も好きなことを続けてこられました。本当に感謝しかありません。みなさんにも、まわりへの感謝の気持ちをもってほしいですね。夢や目標がある人は、その夢に向かう途中で不安になることもあると思います。だけど、好きこそ物の上手なれというように、好きなことだったら続けてください。一歩ずつでも続ける、それが糧になります。結局は気持ち。戦うのは自分の中の自分です。弱い自分が出てきたとき、それに打ち勝てれば何にでもなれると思いますよ!」  
**——ありがとうございます**

**ACURA**さん (1983年生まれ)  
 愛知産業大学三河高校 出身



**16歳** 兄の影響でレゲエミュージックに出会う。  
**33歳** サウンドクラッシュで優勝し、日本代表として世界大会に出場。2018年にはドイツの大会で優勝を飾る。  
**39歳** 音楽活動にとどまらず、アパレル事業、飲食事業、音楽レーベルを立ち上げるなど、精力的に活動中。

管理栄養士の知識をいかして商品を開発し、  
お客様を笑顔にする。



**本多有紀**さん(1987年生まれ)  
豊田北高校 出身  
東海学園大学 健康栄養学部卒業

**MEGLiA(トヨタ生活協同組合)**

豊田市豊栄町 2-111  
<https://www.meglia-net.jp/>

●必要資格 / 管理栄養士  
●主な進路 / 高校卒業→大学で栄養素や大量調理について学ぶ→国家試験に合格し、管理栄養士の資格を取得→生活協同組合に就職

なるためには

——学生時代

「高校時代は、友達と楽しく過ごした思い出が多いです。将来のビジョンは固まっていなかったのですが、大学でやりたいことを見つけようと思っていました。大学で何を勉強しようかと考えたときに思い浮かんだのは、『栄養』という分野。単純に食べるのが好きだったというのもあります。高校卒業後、東海学園大学健康栄養学部に進学しました」

——大学時代について教えてください。

「タンパク質や炭水化物、脂質などの栄養素が、体に入ってからどう分解されるのか、どのように作用するのかを学びました。調理実習や栄養素の勉強だけでなく、食品に入っている成分を抽出して分解するなど、理系分野の実験が多かったのも驚きでしたね。ラットの解剖もしましたし、幅広い分野を学ぶことができたと思います。調理実習では、季節に合わせて食事、糖尿病や腎臓病など疾病に特化した食事、大量調理などを学びました。仕事をするうえで大学での学びはかなり役立っています。国家資格である管理栄養士を取得し、トヨタ生活協同組合に就職しました」

——仕事について

「1年目は社員食堂を担当し、決められた時間までにどう調理しているのか、大量調理について学びました。鶏のからあげを1000個近く揚げるなど力も結構使い、朝も早い体が慣れるまでは体力的に大変でしたね」



——仕事内容を簡単に教えてください。

「現在は、子育てをしながら短時間勤務をしています。業務内容としては、商品部でスーパーで販売する惣菜の開発を担当しています。管理栄養士の知識をいかして開発した惣菜を通して、お客様を笑顔にすることが私の仕事。取引先と商談をおこない、使用する食材の特徴を把握し、調理方法を工夫して試作を繰り返して、商品開発をしていきます」

——心がけていることは？

「商品開発では、この味と価格で買いたいと思えるか、消費者目線を大切にしています。おいしいことはもちろん原価と販売価格を意識することも大事です」

——やりがい

「商品部で最初に携わったのが高校生のお弁当開発。生徒さんの絵をもとに材料を集めて商品化しました。社員食堂も現在も、対お客様の仕事。目の前でおいしいと言ってもええたり笑顔が見られるとやりがいになります。『もったいない商品を開発しよう！』というモチベーションにつながります」

——メッセージ

「私は管理栄養士の国家資格を取得するために、東海学園大学の健康栄養学部管理栄養学科に進学しました。通学しやすい環境やオープンキャンパスで感じた大学の雰囲気が決めた手になりました。オープンキャンパスは、先生や学生の雰囲気やわかるのでおすすめです。高校生のみなさんには、友達や先生など人とのつながりを大事にしてほしいです。私が一緒にお弁当開発をした高校の校長先生は、私の高校時代の先生でした。笑。どこで何がつながるのかわかりませんが、ありがとうございます！」



18歳 食べるのが好きだったこともあり、栄養を学ぶため東海学園大学に進学。  
22歳 栄養素や大量調理について学ぶ。管理栄養士の資格を取得。  
35歳 商品部に配属。学んできた知識や経験をいかし、惣菜の開発をおこなう。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！  
<http://amb100search.com>



常に笑顔を大切にして  
何事も前向きに取り組む姿勢を忘れない。



**中野有紗**さん(2001年生まれ)  
桜丘高校 出身

**第10特科連隊第1大隊**

豊川市穂ノ原1-1(陸上自衛隊豊川駐屯地)  
<https://www.mod.go.jp/gsd/mae/10d/butai/butai/10a/index.htm>

なるためには

●主な進路 / 高校・一般大学卒業→一般曹候補生・自衛官候補生として自衛隊に入隊  
または、一般大学・防衛大学校等を卒業→幹部候補生から自衛隊の幹部として入隊

— 学生時代

「高校生のときから、社会貢献をしたいという思いがありました。高校のボランティアクラブに所属し、地域の募金活動やゴミ拾い、宮城県での清掃作業や地域交流などに参加したことが思い出に残っています。被災された方と話す機会があり、いまだに生活をしているのかなど、被災地で生の声を聞いたのは貴重な経験だったと思います。明るく私たちを受け入れてくれたことも嬉しかったですね。参加してよかったですし、次第に将来は人の役に立つ仕事になりたいという思いが強くなっていきました」

— 自衛隊員を志望したきっかけは？

「進路の先生から、『人の役に立つ仕事なら自衛隊の道もあるよ』と教えてもらったのが、最初にこの仕事を意識したきっかけです。その後、自衛官の話を直接聞く機会があり、明確な目標になっていきました」

— 仕事について

「入隊1年目は、知識、戦闘訓練やほかふくなどの基本的な行動、集団生活、体力練成などの自衛官としての基礎を身につける期間です。私は体力に自信がなかったのですが、ついにくのに必死でした。挫けそうになりましたが、同期と助け合ったり、班長の励ましもあって乗り越えることができました。そのときの班長が私の目標です。ずっと笑顔でいるすてきな方でこういう人になりたいと思います。私も笑顔を大切にして何事も前向きに取り組む姿勢を忘れない」



— 仕事内容を簡単に教えてください

「陸上自衛隊の仕事は、16の職種に分かれていて、戦闘職域から整備衛生など幅広く色々な部隊に分かれています。その中で私の所属は野戦特科部隊。大砲を撃つ部隊なのですが、私は射撃指揮班の一員として、パソコンを使って射撃の計算をしています。大砲の方向や角度などを計算して射撃部隊に伝える、野戦特科の頭脳の部分ですね。あとは、日々、銃剣道のトレーニングにも参加しています」

— やりがい

「現在私は、3月に入隊したばかりの隊員に対して教育をしているのですが、何も知らない隊員が知識をつけたり、できなかった事ができるようになったりして、日々成長していくことにやりがいを感じています。あとは、家族や友達に『かっこいいね!』と言われるとこの道を選んでよかったという気持ちになります。銃剣道の女性自衛官の大会で優勝できたときは、日々の練成の成果が結果に現れてうれしかったですね」

— メッセージ

「自衛隊は、組織で助け合うという意識が強く、苦手な分野を補っていくので体力がないからといって心配しなくてもいいですよ。私もそうでした。自分ひとりでだけでなく、周りの皆と一緒に日々練成する事で自然と体力も身についていきます。みなさんには、多くの人と関わり、『こんな考え方もあるんだ!』と、様々な価値観にふれてほしいです。あとは、『助け合う』という意識を大切にしてください。興味ある方は是非入隊をお待ちしております」



自衛隊

18歳  
↓  
19歳  
↓  
20歳  
ボランティアクラブの活動を通し、人の役に立つ仕事を志す。  
陸上自衛隊に入隊。自衛官としての基礎を身につけて、野戦特科部隊に配属。  
射撃指揮班として、何事も前向きに日々の練成に励む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



常に笑顔でいることを心がけ、子どもたちの成長をサポートする。



角谷琉貴さん(2001年生まれ)

碧南工科高校 出身  
慈恵福祉保育専門学校 卒業

## 第二慈恵幼稚園

安城市高棚町芦池223-2  
<http://jikei2-y.sakura-g.ac.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 幼稚園教諭免許、保育士資格
- 主な進路 / 高校卒業→保育士、幼稚園教諭の養成課程がある専門学校に進学→幼稚園教諭免許、保育士資格を取得→幼稚園に就職

### — 学生時代

「高校の時はパソコンの基礎を組み立てるなど、工業高校ならではの授業が多くありました。なかでも、紙をカットしてお城や達磨などを立体的に作ったペーパークラフトの授業は今の仕事にもいかされています。保育の道に進むきっかけは両親の影響です。親が子どもを預かる仕事をしていて、楽しそうに働く姿を見て自分も子どもと関わる仕事が見たいと思うようになりました。専門学校時代について教えてください。」

「慈恵の系列校に通っていた姉のすすめもあって、慈恵福祉保育専門学校に進学しました。オープンキャンパスに参加したとき、先輩や先生の雰囲気よかったです。1年目は、子どもの成長過程や、成長をサポートするために重要な『健康』『人間関係』『環境』『言葉』『表現』の5領域など、保育の基礎を学びます。2年目は応用。絵本などの道具を使わずに話す素材について、紙芝居の読み方、音楽に合わせて踊るリズム体操など、現場でいかされていることも多いです。」

「保育実習で学んだことは？」

「指導案を考えて現場で実践してものですが、計画通りにいかないことがほとんど。言葉かけが一番難しくなりましたね。言葉ひとつで結果が変わってしまうんです…。経験を積み、少しずつ子どもに合わせた言葉の選び方や伝え方ができるようになりました。」

### — 仕事について

「第二慈恵幼稚園に就職し、私は補助の先生と2人で年少クラスを担当しています。この仕事は、子どもたちの成長や笑顔が見られる本当にすてきな仕事です。子どもの様子に興味にあわせ活動内容を決め、それに沿って子どもたちの成長をサポートします。」

「梅雨の制作だったら子どもたちの好きな色で雨を表現したり、みんな考えたカタツムリの形を作ったりします。季節にふれることやハサミの練習など、一つひとつの活動には意味があります。そして、日々心がけているのは常に笑顔でいることです。例えば、疲れていても子どもと一緒ににこっと笑って楽しむようにしています。子どもは敏感に感じ取りますからね。」

「— やりがい」

「入園当初はできなかったことができるようになったり、子どもたちが成長する姿を見ることがやがいです。また子どもたち同士で上手に関われない子もいるので、みんなで遊ぶことの楽しさ、相手を思いやる気持ちなどを伝えていきたいです。」



「— メッセージ」

「幼稚園教諭免許、保育士資格を取得して就職するのが一般的です。私は空き時間を利用して勉強し、幼児体指指導者検定の資格も取得しました。この仕事は、子どもと関わるのが好きな人であれば、どんな人でも楽しく働くことができると思いますよ。保育の現場では、楽しく遊ぶイメージが大切になってきます。学生時代から、手遊びや絵本などいろいろな引き出しを増やしておいてください！」

ありがとうございます。



自分探検

18歳 両親の影響で保育の道を目指す。高校卒業後、慈恵福祉保育専門学校へ。

20歳 座学や実習を通じ、保育の基礎、応用を学ぶ。第二慈恵幼稚園に就職。

21歳 子どもたちの成長にやりがいを感じ、どんな仕事でも笑顔で取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



いろいろなスイーツを通して、  
お客さんを笑顔にしたいという思い。



**牛田佳那**さん(1999年生まれ)

岩津高校 出身  
名古屋製菓専門学校 卒業

**株式会社オールハーツ・カンパニー**

岡崎市洞町西五位原1-1(PINEDE岡崎店)  
<https://pinede.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→製菓の専門学校に進学→ケーキ屋に就職→パティシエとして勤務

— 学生時代

「家族が『おいしい!』と言って食べてくれることがうれしくて、家でよく料理を振る舞っていました。将来はホテルなどで料理を提供するシェフを夢見て、岩津高校の調理科に進学しました。調理に関する座学や実技に加え、コンテストに提出する課題などもあり、実践的なことをたくさん学ぶことができて忙しくても楽しかったことを覚えています。コンテスト課題に取り組むなかで、洋菓子部門が予選を通過して、いい成績をとることが多く、次第に料理より洋菓子に興味をもつようになりました。高校卒業後は、名古屋製菓専門学校に進学しました」

**「専門時代について教えてください。」**  
「お菓子づくりの専門的な技術を学びました。焼き菓子や生菓子、洋菓子や和菓子など、ほぼすべてのお菓子を作ったんじゃないでしょうか。実技以外にも、衛生面や食中毒、製菓の知識などを座学で学び、製菓衛生師の資格を取得しました。専門学校を卒業したあとは、PINEDE(ピネード)に就職しました」

**「仕事について」**  
「初めに任されたのは、接客からでした。もともと人と話すことが好きだったので、積極的にお客様とコミュニケーションをとるというピネードの方針は私に合っていたと思います。それから、スポンジ生地やカスタードクリームづくり、生クリームを塗っていくナッペという作業も任せてもらえるようになり

ました。まわりの人たちに恵まれ、優しく教えてもらいながらとにかく練習あるのみで経験を積んできました」



**「仕事内容を簡単に教えてください。」**  
「今年から店長になり、接客とスイーツの製造に加えて、スタッフの管理や楽しく働ける環境づくりもおこなっています。商品はすべて店舗で作っているのですが、『スイーツに値段がついて、それをお客様がお金を出して買う』という意識を常に忘れず、おいしくてキレイなスイーツを提供することを心がけています。スイーツを通してお客様を笑顔にしたいという思いが一番なので、お店も笑顔で溢れるような場所になるよう、スタッフやお客さんとのコミュニケーションを大切にしています」

**「やりがい」**  
「温度などの環境によって生クリームや生地の状態は変わってしまいますし、繊細な作業が多いです。スイーツを思いどおりに仕上げられたときはうれしいですね。何度もしびっとして来店してくれるお客さんの存在、私の名前を覚えていて声

をかけてくれるお客さんの存在もやりがいにつながっています」

— メッセージ

「必須ではありませんが、資格や経験はあると役に立ちます。失敗することもたくさんあるので、知識や技術と同じくらいあきらめない気持ちが大変ですね。あとは、みんながスイーツを作っていくので、困ったときや教えてほしいときに素直に自分の考えを伝えられるコミュニケーション能力も必要です。学生時代は、たくさん遊んで楽しい時間を過ごしてほしいです。失敗も成功も自分の糧になるはずですよ!」



インタビュー

18歳 コンテスト課題に取り組むなかで、洋菓子の魅力に気づく。  
20歳 名古屋製菓専門学校に進学。製菓衛生士の資格を取得する。  
22歳 「PINEDE 岡崎店」の店長に就任。笑顔が溢れるお店づくりに取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



医療機器の先にいる  
患者さんの存在を絶対に忘れない。



天野奈津美さん(1999年生まれ)

知立東高校 出身

中部大学 生命健康科学部臨床工学科卒業

安城更生病院

安城市安城町東広群28  
https://anjokosei.jp/

なるためには

- 必要資格 / 臨床工学技士
- 主な進路 / 高校卒業→臨床工学技士の養成課程のある大学に進学→医学と工学の基礎を学ぶ→国家試験に合格し、臨床工学技士を取得→病院に就職

—学生時代

「文化祭などの学校行事に力を入れ、友達と楽しい高校生活を送りました。進路についてはギリギリまで迷っていました。その中のひとつが臨床工学技士です。私が理系だったこともあり、理系の知識をいかしつつ医療の仕事もできるところに魅力を感じたのが興味をもったきっかけです。高校卒業後、中部大学の臨床工学科に進学しました」

大学時代について教えてください。

「1、2年次は電気工学や電子工学などの工学の知識と、解剖学や生理学、微生物学などの医療の知識のベースを学ぶ期間でした。臨床工学技士としての基礎を積み上げる感じですね。3年次からはその応用。人工呼吸装置学、人工心肺装置学、血液浄化装置学など、専門的な器具の回路の組み方や操作の仕方を学びました。実習は安城更生病院に行きました。各部署を回り、いまの自分に何が足りなくて卒業までに何を勉強しないといけないのかを考える機会になりました。あとは当たり前のことですが、医療現場には「患者さんがいる」ということを改めて実感し、緊張感をもって患者さんと接する意識が芽生えたと思います」

—仕事について

「安城更生病院に就職し、現在2年目です。最初はICUに配属され、人工呼吸器や血液透析などの医療機器に携わりました。先輩は「何回でも聞いていいよ。大丈夫だよ」とよく言ってくれたので、焦らず自分



のペースで仕事を覚えていくことができました。自分以後輩ができたときは、私もその言葉をかけてあげたいと思っています」

仕事内容を簡単に教えてください。

「一言でいうと、『医療機器のスペシャリスト』です。点滴などの薬剤を投与する際に使用される『輸液ポンプ、シリンジポンプ』、バイタルサインを表示する『生体情報モニタ』、『人工呼吸器』など、さまざまな医療機器が安心して使えるように点検や修理をおこなっています。心がけているのは、『人の命を預かっている』という意識を忘れないことです。日々、医療機器と向き合っていると忘れてしまいがちですが、医療機器の先にいる患者さんの存在を絶対に忘れないようにしています」

—やりがい

「私たちは、医師や看護師、診療放射線技師や管理栄養士など、いろいろな部署の人と連携してひとりの患者さんと向き合っています。自然と責任のある仕事を任せてもらえるようになるとうれしいですね。患者さんが元気になって退院していく姿を見るのもやりがいにつながっています」

—メッセージ

「臨床工学技士の国家資格を取得する必要があります。まずは受験資格を得られる大学や専門学校に進学してください。私は総合大学である中部大学に進学したことで別の学科の学生と関わりをもつことができて世界がぐっと広がりました。工学や医療に関係ない他分野の勉強も自分にとってプラスになっています。みなさんも食わず嫌いせずに、幅広くいろいろなことを学んでほしいです。自分には必要ないって決めつけず、さまざまな経験、勉強をしてください！」

ありがとうございます。



インタビュー

- 18歳 学校行事に取り組み、楽しい高校生活を送る。卒業後、中部大学に進学。
- 22歳 工学と医療の知識を学び、臨床工学技士の基礎を作る。
- 23歳 人の命を預かっているという意識を忘れず、日々の仕事に向き合う。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

